

<消化器内科>

一般（教育）目標

消化器内科疾患に対する診療の基本を身につけるため、主な消化器疾患について診察・検査・診断・治療を系統的に幅広く学ぶ。特に一般診療で common disease として遭遇する消化器疾患に対する基本的な対応ができるようになることを目標とする

(具体的) 行動目標

- (1) 初期対応：病歴聴取・身体所見（診察）を行える
- (2) 適切な検査計画：適切な採血項目を選択し指示できる。消化器疾患特有の検査（以下参照）について意義・内容を理解したうえで、診断・治療のために必要な検査を選択できる
 - ・腹部超音波・上部消化管内視鏡・下部消化管内視鏡・単純／造影 CT・単純／造影 MRI・内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）・超音波内視鏡（EUS）・消化管透視など
- (3) 検査結果の適切な評価：検査結果を正確に評価できる
- (4) 診断：検査結果から考えられる鑑別疾患を挙げられる
- (5) 治療計画および実行：結果・診断を踏まえて治療計画が立てられる。また速やかに実際の治療を実行できる
- (6) 治療効果判定＋評価：臨床経過を正しく把握し治療効果判定を行える。また必要に応じて再度計画を練り直すことができる

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う
- (2) 週2回の部長回診に参加し、簡潔かつ適確な症例提示を行う
- (3) 上級医の指導により、消化器疾患に関する検査を自ら計画し参加する

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 上級医の指導のもとカンファレンスの症例提示を行う
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する
- (3) 興味を持った症例や病態に関して、上級医の指導のもとに自己学習を行う。また機会があれば積極的に学会発表を行う

週間予定（例）（例）※隨時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前 1	病棟業務 検査	病棟業務 検査	病棟業務 検査検査		肝臓科勉強会
午前 2				病棟業務 回診	病棟業務 検査
午後 1	病棟業務 回診	病棟業務 治療 検査	病棟業務 治療 検査	病棟業務 治療 検査	病棟業務 治療 検査
午後 2			内視鏡カンフ アレンス	食道カンファレンス 肝胆脾キャンサーボード 肝胆脾画像病理カンフア レンス（月 1 回）	

※ 回診、カンファレンスは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より不定期の実施

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医 ⇄ 指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること